

(別添3)

【かすみがうら市】

校務DX計画

【現状】

かすみがうら市では、平成27年頃からペーパーレス化に取り組んでおり、一定の成果は出てきているが、「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」による自己点検の結果、クラウドツールの活用、FAXでのやり取りの廃止、押印の見直し、校務支援システムへの名簿情報等の不必要な手入力作業の一掃が一部で進んでおらず、校務の効率化・完全なペーパーレス化へは課題が残っている状況である。

「GIGAスクール構想の下での校務の情報化に関する専門家会議」の提言を踏まえても、これらの課題について早急に解決に向けて検討が必要と捉えている。

【課題】

(1) クラウドツールの未活用

「Google Workspace」等のクラウドツールを活用した学習等が少しずつ進んでいるが、校務としては生徒の欠席・遅刻等に関する保護者とのやりとり、学校からのお便り等、学校と保護者を結ぶクラウドツールの活用が進んでおらず、電話対応や書類の印刷・配布など教職員の負担となっている。

また、物理サーバによる運用を行っているため、教職員は職員室内での業務が必要となっており、ちょっとした事務手続きなどにおいても作業ができる場所が職員室に限られてしまっている。

加えて、学校内の会議で使用する書類の印刷・配布や修正時の手直しによる再印刷など教職員の負担が大きい状況となっている。

(2) FAXでのやり取り・押印の見直し

学校ではFAXでのやり取りを基本的に廃止する方針としているが、業者又は県/教育委員会/人事等とFAXでのやり取りが慣行として行われている状況のため、完全な廃止が出来ない状況である。

学校で扱う書類の中には一部責任者による押印が必要な書類も残っており、“押印待ち”といった無駄な時間が発生している。

(3) 校務支援システムへの不必要な手入力作業の一掃

生徒の欠席・遅刻等に関して保護者から電話で受け付けており、教職員が別途校務システムへ入力し、管理者へ報告をしている状況であり、教職員の大きな負担となっている。

(4) 次世代の校務システムの導入に向けた検討

校務での生成 AI 活用について、一部で活用はされているが、学校や教職員間によってその活用度合いに差がある。

【取組方針】

現状と課題からかすみがうら市では、下記の通り校務DXの推進を図っていく。

(1) クラウドツールの整備・活用

校務支援アプリ等を活用し、学校からのお便りなどの印刷・配布の廃止を目指す。それにより、教職員の日常業務の負担軽減を図ると共に、ペーパーレス化を推進していく。

また、会議で用いる資料等は Web 会議ツールなどの資料共有機能を利用することを推奨し、印刷等の負担軽減を図ると共に、ペーパーレス化を推進していく。

(2) FAX でのやり取り・押印の見直し

FAX は原則使用しない方針とし、業者等とはメールを使ったやりとりなどで対応できないかを継続的に働きかけていく。

押印については、無くせないもの、無くせるもの又は代替できるものを区別し、一定程度押印廃止に向け取組は進んではいるものの、より一層押印にとらわれない効率的な校務運営に向け調整を進める。県や教育委員会の制度によるものの場合、関係者と協議して見直しを図っていく。

(3) 校務支援システムへの不必要な手入力作業の一掃

校務支援アプリ等を活用し、保護者からの連絡をアプリで受け付け、管理者もアプリ上から確認できる仕組みを導入することで、教職員の業務負担軽減を図ることを検討する。

(4) 次世代の校務システムの導入に向けた検討

生成 AI の校務での有効活用に向け、国のガイドラインに基づいた活用を推進し、県域外の好事例等の情報収集や講師を招いた研修を教職員向けに実施する。